

【令和2年度 和合こども園 保育教諭 自己評価】

A…十分出来ている B…ほぼ出来ている C…努力が必要

評価項目	自己評価集計 (%)			評価分析
	A	B	C	
教育・保育理念の理解	43.7	55.3	1.0	園の保育理念方針はおおむね理解できている。内容をわかりやすく保護者に説明できると評価した職員が昨年度より増えている。
教育・保育課程・指導計画と記録について	50.0	48.3	1.7	全体的にはほぼ出来ている結果が出ている。保育指針・こども園教育・保育要領を基に指導計画を作成しているが、保育教諭の負担軽減のためにも簡潔な計画、記録にしていきたい。
乳児・未満児の保育の理解	67.4	30.7	1.9	育児担当制が徐々に浸透し、0.1.2歳児については子どもが安定して過ごせている。保護者との信頼関係が大切であることを十分承知して保育に当たっている。
三歳以上児の教育・保育	55.9	36.4	7.7	教育・保育要領、教育課程について理解し、指導計画に反映している。「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を目標に保育することを意識していく。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策によって、行事の中止、変更また、子どもたちの通常の保育にも影響が出る中、子どもたちが園生活を楽しめるよう努力した。
特別支援教育 保育	55.8	31.8	12.4	多様な個性を持つ子が年々増加している。それぞれの個性に寄り添う保育、保護者との連携が必要である。臨床発達心理士の配置は、心強い存在となった。豊富な知識と高い保育技術が必要であり、スキルアップを図っていく。
健康 安全	55.6	38.9	5.5	本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に恐れを感じ、例年以上に衛生管理を徹底した。
保護者支援 地域の子育て支援	68.0	29.4	2.6	保護者・地域の子育て家庭の支援の必要性を十分に理解している。虐待予防、早期発見も重要であると職員が自覚している。
職員の姿勢	57.0	39.7	3.3	こども園に求められることが多種多様である。本園の職員は一生懸命学び取り組もうとする姿勢がある。職員間の連携も良く着実にキャリアアップしている。

※こども園に移行して3年目となり、教育・保育の検討をしてきたことが、保育の質の向上につながってきたと感じます。職員それぞれの自己評価も良くなっているのは、自信をもって保育ができていると感じているのではないかと分析する。